	No. 29 -	1 基本事務事	業名 学校	於給食運営	営管理業務	事務事業	業名 市場	易学校給食運	営管理業	務 公的関与	7 シ	ート作成日 ³	平成24年	F7月12日		
	部局名	教	育委員			校給食も	2ンター	主務課長	名	秋山 雅彦		卜作成者名				
	事業区分	○ 1 ソフト事		3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法	✓ 1 直	曾					
	争未匹力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 ^事	未连占刀仏	2 —	-部委託	4 補	助等		
		基本構想(政		人が輝くま				実施計画				の開始・終了				
	総合計画	基本計画(施	, ,	(1)学校教育の充実			0	1 該当		·成 年			✓ 期間	設定なし		
		主要施策	(7)	学校給食	体制の充実		O	2 非該当	村	見拠法令等	学校給食	法				
		対象(誰を、. 何を)	市内小中	学校(市場	易校区)											
		目的(どうい う状態にし -	最終的	学校給食	実施基準の下、安	心・安全な	給食の提	是供に努めるとと	ともに、学	校給食を活用	した地産地	消や食育の取り	り組みを打	推進します。		
P L		たいのか)						是供に努めるとと	ともに、学	校給食を活用	した地産地	ト作成者名 秋山 雅彦 営 3 全部委託 部委託 □ 4 補助等 の開始・終了 成 年 ☑ 期間設定なし				
ΑZ	事業の 活動内容 数値目標 (事業の目的	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
Ν		学校給食の献立作成・調理及び配送														
		衛生管理・保健指導に関する研修														
		特別活動・給食試食会を通した食育の推進啓発														
		学校給食に関するアンケート調査														
		給食費の徴収 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 22 年度 平成 23 年度 平成 24 年度 最終目標														
		指標名	<u> </u>	計算式又は指標設定理由				平成 22	牛度	F度 平成 23 年度		平成 24 3	牛塻	最終日標		
		栄養職員による食	育の実施	模区を対象とした給食試食 会・調理実習・食育授業			目標 実績		49	49 4						
	及び活動内						目標									
	容の達成度						実績									
	を測る指標)						目標									
					4 1 1		実績			150/15//						
	予算費目	会 計			会計	款	10 教育		項	7 学校給		1		費		
				成 22		平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算		備考			
		国庫支出			千円			千円			千円					
		県支出	金					千円			千円 千円					
	直接事業費	地 方 その他特定財	債	千円			千円			40						
О О				41,122 千円			39,112 千円 11,221 千円									
J		一般財源 計(A)		11,132 千円 52,254 千円				11,221 千円 50,333 千円			,046 千円 <mark>,802</mark> 千円					
		正職員工数・総	交費 マ	500 人	21,440 千円	3.500	<u> </u>	21,156 千円	3.500							
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, ,	21,770 113 食調理員		校給食			之 於給食調理	,					
		臨時·嘱託工数·約		000 人	8,399 千円	7.000	人	11,144 千円			·552 千円					
	今 休車	業費(A + B)		- / \	82,093 千円		- >	82,633 千円			, <mark>218</mark> 千円					

			チェック項目		一次	評価	_	次評価の	二次評価				
		1 .	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	〇 少/	ない	● 大きい	な発達に	不可欠であ		ン ツない	● 大きい		
	必要	2 .	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	1	ある	する正しい知識と判断力を養うことが大変重要です。学校給食は、食育の主要な柱で食生活の			○ ない	ある		
	性	3 .	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	೦ ಹಕ	3	● ない				೦ ಹಕ	ない		
		4 .	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	O N	3	● いない	指標となる	るものです。		O 113	● いない		
		1 .	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	O 117	えない	● いえる		は教育の- い、栄養職	○ いえない	● いえる			
	有効	2 .	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	O 117	えない	● いえる	養のバラ	ンスの取れ	た給食の提	○ いえない	● いえる		
С	性	3 .	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	ਂ ਰਫ	3	● しない	供をする。	ことによって ます。	食育の推	○ する	● しない		
HΕ		4 .	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ でき	きない	● できる			○ できない	● できる			
C K		1 .	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	〇 目標	票に比/	べて劣っている		1て18年ある 生面では創	○ 目標に比べて劣っている				
	達世	2 .	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あま	り上が	っていない	りできるた	けドライ運	○ あまり上がっていない				
	成度	3 .	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね	2達成	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					○ 概ね達成している		
		4 .	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	O +5	分達成	達成している を地元農家から購入するなど一 定の成果は得ています。					● 十分達成している		
	効率性	1 .	効果に比べてコストが高い。	〇高	١,	● 適当	日々の給食が教材となっています。また給食時間に流せるよう			○ 高い	● 適当		
		2 .	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ でき	£3	● できない	献立に沿	った食育啓	発用放送原		● できない		
		3 .	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	೦ ಹಕ	3	● ない	構を作る ます。	などの工夫	🔾 ಹಕ	● ない			
		4 .	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	೦ ಹಕ	3	● ない				🔾 ಹಕ	● ない		
			一次評価					二次	評価				
	評値	点面	必要性 有効性 達成度 効率性 総合		业		有効性	達成度					
	全征	きの しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	4	-	0	_ 4 拡大·充実	4 ● 現状	4 ÷维持		<u> </u>	 問委託等		
Α		対性				縮小	統合/終) 廃止/休		1-3 \$\frac{1}{3}\$		
Ĉ				\ \u - -		二次			及び一次評	価との相違	点		
TIO	当課	題	調理員の尚一層の衛生研修等を図り、学校給食衛生基準により一層安全 い運用を図っていきます。また、学校給食センター統合を控え各センター ⁻ 用基準などの統一を進める必要があります。		- 地産地消を推進しできるだけドライ運用して〈ださい。								
Z	改算と計		各学校·学校教育課と協議を行い給食センターのアレルギー対策·主食のの統一についてH24度中に見直しを進めていきます	ー D量など		プロ/日で]比延 U	(C.S/CI)	「ノー建用」	, C \ <i>I</i> C C V 1 ₀	使全 で関うこ の ある の ない の ある の ない の いえない の いえない の いえない の いえる の いえる の いえる の いえる の いえない の いえる の いえない の できない できない の あまり上がっていない の 概ね達成している の おり上がっていない の 概ね達成している の おり上がっているい の ある の ない の ない の ない の ない の ある の ない の な			
		員会 事項											

	No. 29 -	2 基本事務事績	業名 学校約	含運営管	理業務	事務事	業名 阿波	皮学校給食運	営管理業	務 公的関	5 7 シ	· 一 卜作成日 🔄	平成24年	7月12日
	部局名	教	育委員会		課名 学	校給食も	2ンター	主務課長名	를	秋山 雅彦	シ-	作成者名	秋山	」雅彦
	市米区八	○ 1 ソフト事	業	● 3 経常的事務事業			坐			개() 그 2년 구) 구			3 全	:部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業	〇 4 ħ	施設の維持管理	理 〇	6 内部管	管理事務・その)他 事	業運営方法	2 -	-部委託	成者名 秋山 雅彦	
		基本構想(政策	策) 1 . 人	. 人が輝〈まちづ〈り				実施計画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施)	策) (1)学	1)学校教育の充実			○ 1 該当			·成 年	- 平			
		主要施策	(7)学	7)学校給食体制の充実			● 2 非該当			视法令等	学校給食	法		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、 何を)	市内小中学	!校(市場校	区)									
		目的(どうい)										也消や食育の取り)組みを打	進進します。
P L		たいのか)						供に努めるとと	さし、学	校給食を活用	した地産地	也消や食育の取り)組みを排	進進します。
Α					すか。(主なも	の5つま	で)							
Ν				:調理及び										
	事業の 活動内容	衛生管理・保健指導に関する研修												
		特別活動・給食試食会を通した食育の推進啓発												
		学校給食に関するアンケート調査												
		給食費の				W//		I		— I				
		指標名			指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23	件	平成 24 ^全	‡度	最終目標
	数値目標	栄養職員による食剤	育の実施 ┃️校	校区を対象とした給食試食 会・調理実習・食育授業			目標		<u> </u>	51 41				
	(事業の目的			: '神垤天白	· 艮月汉未		実績 目標		51	31		+1		
	及び活動内 容の達成度						実績							
	を測る指標)						日標						-	
							実績							
	予算費目	会 計		一般会言	+	款	10 教育	 音	項	7 学校給	食費	目 1 与	学校給食	: 曹
		_, _,	平成		年度決算	平成	23	年度決算	平成		F度予算			,,,,
		国庫支出	金		千円			千円			千円			
		県 支 出	金	千円		千円					千円	1		
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円	1		
D	且汉尹未貝	その他特定財源		46,230 千円				45,149 千円			3,357 千円			
0		一般財源			11,411 千円			12,389 千円		12				
		計(A)			57,641 千円			57,538 千円			<mark>),575</mark> 千円			
		正職員工数・経			33,692 千円	5.500	人	33,245 千円	4.500	, ,	<mark>5,825</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		学校給食			校給食			校給食調理				
	人生士	臨時·嘱託工数·絲	圣費 5.00	0 人	6,999 千円	6.000	人	9,552 千円	6.000		<mark>),552</mark> 千円			
	至仲事	業費(A+B)			98,332 千円			<mark>100,335</mark> 千円		96	<mark>6,952</mark> 千円			

			チェック項目		一次評価			一次評価の	***		二次評価		
		1 .	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少な	:61	● 大きい	な発達	に不可欠で	の心身の健全 あり、食に関		少ない	● 大きい	
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない		ある		する正しい知識と判断力を養うことが大変重要です。学校給食 は、食育の主要な柱で食生活の			ない	ある	
	性	3 .	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	ある		● ない	は、食剤				ある	● ない	
		4 .	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	O 113		いない	指標と	なるものです	0	0	เาอ	● いない	
		1 .	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	O いえ	ない	● いえる	学校給役割を	食は教育の 担い、栄養	いえない	● いえる			
	有効	2 .	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	O いえ	ない	● いえる	養のバ	ランスの取っ	れた給食を提	0	いえない	● いえる	
C H	姓	3 .	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する		● しない		ることは日々 って有効な言	'の食育の推 [≦] 段です。	0	する	● しない	
Е		4 .	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ でき	ない	● できる				0	できない	● できる	
C K		1 .	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	〇 目標	に比べ	定比べて劣っている 建築されて18年あまりたち当初 の設計で動線的にドライ運用が					○ 目標に比べて劣っている		
	達世	2 .	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あま!	〕上が:	ていない	難しい	面もあります	が、漏水の防	○ あまり上がっていない			
	成度	3 .	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね	● 概ね達成している			・ 止等湿度が上がらないように努め、また、検査結果を元に洗浄			○ 概ね達成している		
		4 .	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	〇 十分	<mark>↑達成している</mark> 方法などに工夫をし衛生管理(向上に努めています。					● 十分達成している			
	効率性	1 .	効果に比べてコストが高い。	〇 高い	١	● 適当 日々の給食が教材とな時間に流せるよう献立に					高い	● 適当	
		2 .	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ でき	3	● できな	(1) 食育啓	発用放送原	稿を作るなど	0	できる	● できない	
		3 .	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	೦ ಹತ		● ない	の工夫	の工夫を行っています。			ある	● ない	
		4 .	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	ある		● ない				0	ある	● ない	
			一次評価						次評価				
	評值	点面	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 4	価	业	要性	有効性	達成	ラ 効率	性	総	合評価	
	今後	きの	4 4 4 3 4 4 A ○ 拡大·充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託	£ 等	0	_ 4 拡大·充写		_ 4 _ 状維持		盖	〇 民間	_ <u>^</u>]委託等	
Α		9性		9.5	,			終期設定	○ 廃止/休		0 201	72,1015	
Ĉ			学校給食衛生基準に沿ったし施設運用(一部でもドライ運用への工夫)	を図り、	一为证据不会比较素证 7.1% 为证据上会的法上								
T I O			なお一層の調理員の衛生研修等を行い、より安全性の高い運用をとる必ります。また、学校給食センター統合を控え各センターでの運用基準などを進める必要があります。	が要があ の統一	あ								
N	改革と第二計	草案 尾行 画	各学校・学校教育課と協議を行い給食センターのアレルギー対策・主食の統一についてH24度中に見直しを進めていきます。		, ευ <u>/</u> Έ	-6/F C JE W		i/ i / i / 達 /		10			
		員会 事項											